

都民の生活実態と意識

平成 18 年度

東京都福祉保健基礎調査報告書



目 次

まえがき

第1 調査の概要	1
1 調査の目的	3
2 調査の対象	3
3 調査の基準日	3
4 調査事項	3
5 調査方法	3
6 調査の機構	3
7 根拠規程	3
8 集計の対象	4
9 調査（報告書）の構成	4
10 利用上の注意	5
11 結果の公表	5
第2 調査結果の概要	7
序	9
1 東京都の世帯と人口	9
2 世帯と人口の推移	10
3 平均世帯人員	11
4 標本の抽出及び一部結果の推計	12
第1部 世帯と世帯員の状況	13
第1章 集計対象者の基本的属性	
1 集計対象者の性・年齢階級	13
2 地域	14
3 健康状態	15
4 世帯の状況	15
(1) 世帯人員	15
(2) 世帯構成（世代別）	16
5 住居の状況	16
(1) 住居の種類	16
(2) 居住開始時期	17
6 就業の状況	17
7 経済の状況	18
(1) 主な世帯収入の種類	18
(2) 世帯の年間収入	18
(3) 生計中心者の年間収入	19

第2章 世帯の状況

1	単独世帯一性・年齢階級	20
2	18歳未満の子どもの有無一過去調査との比較	21
3	6歳未満の子どもの有無一過去調査との比較	21
4	65歳以上の高齢者の有無一世帯類型別、過去調査との比較	22
5	手帳所持者の有無（身体障害者・愛の手帳・精神障害者保健福祉手帳）、 前回調査との比較	23
6	生活保護受給の有無一過去調査との比較	23
7	年金・恩給受給の有無一世帯類型（65歳以上の高齢者がいる世帯）別	24
8	世帯業態（就業状況別）一過去調査との比較	25
9	世帯業態（就労の形態別）	25
参考「クロス集計表を使った分析(クロス集計表)」		26

第3章 住居の状況

1	住居の種類	27
(1)	住居の種類一所有関係別	27
(2)	住居の種類一地域別、前回調査との比較	28
(3)	住居の種類一世帯類型（18歳未満の子どもの有無、高齢者の有無別）	29
(4)	住居の種類一世帯収入別	30
2	居住室数一過去調査との比較	31
3	住宅の床面積一過去調査との比較	31
4	居住開始時期	32
(1)	居住開始時期一地域別	32
(2)	居住開始時期一住宅の種類別	33
5	住宅ローン	34
(1)	住宅ローンの有無一地域別	34
(2)	住宅ローンの有無一世帯収入（年間収入）別	35
6	家賃・間代・地代（月額）	36
(1)	家賃・間代・地代（月額）一地域別、前回調査との比較	36
(2)	家賃・間代・地代（月額）一住居の種類別	37
参考「クロス集計表を使った分析(比率の推定)」		38

第4章 経済の状況

1	主な世帯収入の種類	39
(1)	主な世帯収入の種類一世帯類型（高齢者、母子世帯別、手帳所持者（身体障害者 手帳・愛の手帳・精神障害者保健福祉手帳）がいる・いない世帯別）、 過去調査との比較	39
(2)	主な世帯収入の種類一住宅の種類別	40
2	世帯の年間収入	41
(1)	世帯の年間収入一世帯類型別、過去調査との比較	41

(2) 世帯の年間収入－就業状況別、過去調査との比較	42
3 生計中心者の状況	43
(1) 生計中心者（世帯主）の主な世帯収入の種類－性・年齢階級別	43
(2) 生計中心者（世帯主）の年間収入－性・年齢階級別	44
4 1か月の育児にかかった費用－子ども（3歳、6歳未満）がいる世帯別	45
参考「全国調査との比較（世帯収入）」	46
参考「クロス集計を使った分析（ローレンツ曲線とジニ係数）」	47

第5章 生活保護受給世帯

1 生活保護受給世帯	48
(1) 生活保護受給世帯の世帯類型（18歳未満の子どもがいる・いない世帯）	
－全世帯、過去調査との比較	48
(2) 生活保護受給世帯の世帯類型（65歳以上の高齢者がいる・いない世帯）	
－全世帯、過去調査との比較	48
2 生活保護受給世帯の住居の状況	49
(1) 生活保護受給世帯の住居の種類－全世帯、過去調査との比較	49
(2) 生活保護受給世帯の居住開始時期－住居の種類別	49
3 生活保護受給世帯の家賃・間代・地代－住居の種類別	50
4 生活保護受給世帯の生計中心者（世帯主）の状況	51
(1) 生活保護受給世帯の生計中心者（世帯主）の年齢	
－性別、前回調査との比較	51
(2) 生活保護受給世帯の生計中心者（世帯主）の就業状況	
－性・年齢階級別、全世帯との比較	51
参考「クロス集計表を使った分析（検定）」	52

第6章 単独世帯の状況

1 単独世帯の年齢階級－過去調査との比較	54
2 単独世帯の配偶者の状況－性・年齢階級別	55
3 単独世帯の就業の状況	56
(1) 単独世帯の就業の状況－性・年齢階級別	56
(2) 単独世帯の就労の形態－性・年齢階級別	57
4 単独世帯の経済の状況	58
(1) 単独世帯の主な世帯収入の種類－性・年齢階級別	58
(2) 単独世帯の年間収入－性・年齢階級別	59
5 単独世帯の住居の状況	60
6 単独世帯の家賃・間代・地代（月額）－住居の種類別	61
7 単独世帯の健康状態－性・年齢階級別	62

第7章 夫婦の状況

1 夫婦の年齢階級	63
-----------	----

2	夫婦の就業の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・	63
(1)	夫婦の就業の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・	63
(2)	夫婦の就業の状況一夫、妻の年齢階級別・・・・・・・・	64
(3)	夫の仕事の種類一夫の年齢階級別・・・・・・・・・・	65
(4)	妻の仕事の種類一妻の年齢階級別・・・・・・・・・・	66
(5)	公的年金の加入状況一夫、妻の年齢階級別・・・・・・・・	67

第8章 世帯員の状況

1	世帯員の年齢階級の推移一過去調査からの比較・・・・・・・・	68
2	配偶者の状況一性・年齢階級別、前回調査との比較・・・・・・・・	69
3	教育・保育の状況[複数回答]一性別・・・・・・・・・・	70
4	傷病の状況[複数回答]一性・年齢階級別・・・・・・・・・・	71
5	就業の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・	72
(1)	就業者一性・年齢階級別・・・・・・・・・・・・・・・・・・	72
(2)	世帯員の勤め先での呼称一性・年齢階級別・・・・・・・・	73
(3)	世帯員の従業する企業等の従業者数一性・年齢階級別・・・・・・・・	74
6	医療保険の加入状況一性・年齢階級別・・・・・・・・・・	75

第9章 子どもの状況

1	子どもの性・年齢階級、子どもがいる世帯一過去調査との比較・・・・・・・・	76
2	子どもの年齢階級一世帯類型（18歳未満の子どもがいる世帯）別・・・・・・・・	77
3	教育・保育の状況[複数回答]一性・年齢階級、世帯類型別・・・・・・・・	78

第10章 高齢者の状況

1	高齢者の状況一性・年齢階級別、前回調査との比較・・・・・・・・	79
2	高齢者の配偶者の状況一性・年齢階級別・・・・・・・・・・	80
3	高齢者の就業の状況一性・年齢階級別・・・・・・・・・・	81
4	高齢者の主な世帯収入の種類一世帯類型別、前回調査との比較・・・・・・・・	81
5	高齢者の主な世帯収入（年間収入）一世帯類型別、前回調査との比較・・・・・・・・	82
6	高齢者の医療保険の加入状況一性・年齢階級別・・・・・・・・・・	82

第11章 手帳所持者の状況

1	手帳の所持状況一性・年齢階級別、過去調査との比較・・・・・・・・	83
2	身体障害者手帳所持者の状況・・・・・・・・・・・・・・・・	84
(1)	身体障害者手帳所持者の障害の程度一性・年齢階級別・・・・・・・・	84
(2)	身体障害者手帳所持者の障害の種類[複数回答] 一障害の程度別・・・・・・・・・・・・・・・・	85
3	愛の手帳所持者の状況一性別・過去調査との比較・・・・・・・・	86
4	精神障害者保健福祉手帳所持者の状況一性別・過去調査との比較・・・・・・・・	86
5	手帳所持者の傷病の状況[複数回答]一性・年齢階級、全世帯員別・・・・・・・・	87

6	手帳所持者の就業の状況	88
(1)	手帳所持者の就業の状況	
	一性・年齢階級、手帳の所持状況別、全世帯員との比較	88
(2)	手帳所持者の就労の形態一性別	89
第12章 介助の状況		
1	手助けや見守りが必要な人がいる世帯の状況一世帯類型別	90
2	手助けや見守りが必要な人の有無一住居の種類別	91
3	手助けや見守りが必要な人の状況	92
(1)	手助けや見守りが必要な人の状況一性・年齢階級別	92
(2)	手助けや見守りが必要になった主な理由一性・年齢階級別	93
(3)	手助けや見守りが必要になった主な理由一世帯類型 (65歳以上の高齢者がいる世帯)別	94
(4)	手助けや見守りが必要になった主な理由 一手助けや見守りが必要な人の状態別	95
(5)	手助けや見守りが必要な人の状態 一手助けや見守りを必要とするようになってからの期間別	96
4	主に手助けや見守りをしている人の状況	97
(1)	主に手助けや見守りをしている人の同居・別居、続柄 一手助けや見守りが必要な人の状態別	97
(2)	主に手助けや見守りをしている人(同居)の続柄一性・年齢階級別	98
第2部 福祉・保健医療に関する実態と意識		
第1章 食生活の状況		
1	1日の食事の栄養バランス	101
(1)	1日の食事の栄養バランス一性・年齢階級別	102
(2)	1日の食事の栄養バランス一世帯類型 (18歳未満の子どもの有無、高齢者、母子等)、配偶者の有無別	103
2	朝食の有無	104
(1)	朝食の有無一性・年齢階級別	105
(2)	朝食の有無一悩みやストレスの有無、原因別	106
参考「全国調査との比較(朝食の欠食率)」		107
第2章 飲酒の状況		
1	飲酒の有無、頻度	108
(1)	飲酒の有無、頻度一性・年齢階級別	109
(2)	飲酒の有無、頻度一仕事の種類別	110
2	1日の平均飲酒量	111
(1)	1日の平均飲酒量一性・年齢階級別	112
(2)	1日の平均飲酒量一健康状態別	113

3 飲酒の習慣の有無	114
(1) 飲酒の習慣の有無一性・年齢階級別	115
(2) 飲酒の習慣の有無一仕事の種類別	116
参考「クロス集計を使った分析(特化係数)」	117

第3章 喫煙の状況

1 喫煙の有無	118
(1) 喫煙の有無一性・年齢階級別	119
(2) 喫煙の有無一仕事の種類別	120
2 喫煙の頻度	121
(1) 喫煙の頻度一性・年齢階級別	122
(2) 喫煙の頻度一地域別	123
3 1日の喫煙本数	124
(1) 1日の喫煙本数一性・年齢階級別	125
(2) 1日の喫煙本数一健康状態別	126
参考「全国調査との比較(喫煙率)」	127

第4章 生活活動・運動の状況

1 生活活動・運動の推奨内容の認知度	128
(1) 生活活動・運動の推奨内容の認知度一性・年齢階級別	129
(2) 生活活動・運動の推奨内容の認知度一地域別	130
2 生活活動・運動の推奨内容の実行度	131
(1) 生活活動の推奨内容の実行度一性・年齢階級別	132
(2) 運動の推奨内容の実行度一性・年齢階級別	133

第5章 健診の状況

1 健診・人間ドックの受診の有無	134
(1) 健診・人間ドックの受診の有無一性・年齢階級別	135
(2) 健診・人間ドックの受診の有無一就業状況別	136
(3) 健診・人間ドックの受診の有無一生活活動・運動の推奨内容の認知度別	137
2 健診結果の指摘の有無と指摘の内容	138
(1) 健診結果の指摘の有無と指摘の内容[複数回答]一性・年齢階級別	139
(2) 健診結果の指摘の有無と指摘の内容[複数回答]一飲酒習慣の有無別	140
3 保健指導の有無と指導内容の実行程度	141
(1) 保健指導の有無と指導内容の実行程度一地域別	142
(2) 保健指導の有無と指導内容の実行程度一性・年齢階級別	143
4 医療機関受診勧奨の有無と受診の有無	144
(1) 医療機関受診勧奨の有無一性・年齢階級別	145
(2) 医療機関受診勧奨の有無一地域別	146
(3) 医療機関の受診を勧められた後の医療機関の受診の有無一性・年齢階級別	147

第6章 がん検診の受診状況

1	がん検診の受診状況と受診内容	148
(1)	がん検診の受診状況一性・年齢階級別	149
(2)	がん検診の受診率[複数回答]一性・年齢階級別	150
(3)	がん検診の受診率[複数回答]	
	ー1日の食事の栄養バランス、1日の平均飲酒量、喫煙頻度別	151
2	乳がん検診の受診状況(女性)	152
(1)	乳がん検診の受診状況[複数回答]一性(女性)・年齢階級別	153
(2)	乳がん検診の受診状況[複数回答]一就業状況別	154
3	がん検診の受診場所	155
(1)	がん検診の受診場所[複数回答]一性・年齢階級別	156
(2)	がん検診の受診場所[複数回答]一地域別	157
4	がん検診を受けた理由と受けなかった理由	158
(1)	がん検診を受けた理由[複数回答]一性・年齢階級別	159
(2)	がん検診を受けなかった理由[複数回答]一性・年齢階級別	160
(3)	がん検診を受けなかった理由[複数回答]一就業状況別	161

第7章 悩みやストレスの状況

1	悩みやストレスの状況	162
(1)	悩みやストレスの状況一性・年齢階級別	163
(2)	悩みやストレスの状況一仕事の種類別	164
2	悩みやストレスの原因	165
(1)	悩みやストレスの原因[複数回答]一性・年齢階級別	166
(2)	悩みやストレスの原因[複数回答]一就業状況別	167
3	悩みやストレスの相談先	168
(1)	悩みやストレスの相談先[複数回答]一性・年齢階級別	169
(2)	悩みやストレスの相談先[複数回答]一仕事の種類別	170

第8章 子育て支援

1	子育て支援のために重要なこと	171
(1)	子育て支援のために重要なこと[複数回答]一性・年齢階級別	172
(2)	子育て支援のために重要なこと[複数回答]	
	一世帯類型別(子どもの有無、高齢者・母子世帯別)	173
2	仕事と家庭の両立のために充実した方がよいこと	174
(1)	仕事と家庭の両立のために充実した方がよいこと[複数回答]	
	一性・年齢階級別	175
(2)	仕事と家庭の両立のために充実した方がよいこと[複数回答]	
	一世帯類型別(子どもの有無、高齢者・母子世帯別)	176

第9章 児童・高齢者虐待

- 1 児童・高齢者虐待を見聞きした場合の対応・・・177
 - (1) 児童・高齢者虐待を見聞きした場合の対応一性・年齢階級別・・・178
 - (2) 児童・高齢者虐待を見聞きした場合の対応
一世帯類型別（子どもの有無、高齢者の有無別）・・・179
- 2 児童・高齢者虐待の防止策・・・180
 - (1) 児童・高齢者虐待の防止策[複数回答] 一性・年齢階級別・・・181
 - (2) 児童・高齢者虐待の防止策[複数回答]
一世帯類型別（子どもの有無、高齢者の有無別）・・・182

第10章 障害者の支援策

- 1 重要だと思う障害者への施策・・・183
 - (1) 重要だと思う障害者への施策[複数回答] 一性・年齢階級別・・・184
 - (2) 重要だと思う障害者への施策[複数回答]
一身体障害者手帳・愛の手帳・精神障害者保健福祉手帳の所持状況別・・・185
- 2 障害者の一般就労へ向けた企業の役割・・・186
 - (1) 障害者の一般就労へ向けた企業の役割[複数回答] 一性・年齢階級別・・・187
 - (2) 障害者の一般就労へ向けた企業の役割[複数回答]
一身体障害者手帳・愛の手帳・精神障害者保健福祉手帳の所持状況別・・・188

第11章 地域社会のあり方

- 1 地域住民の協力関係の必要性の有無・・・189
 - (1) 地域住民の協力関係の必要性の有無一性・年齢階級別・・・190
 - (2) 地域住民の協力関係の必要性の有無一地域別・・・191
- 2 地域住民同士の協力関係を築くために必要なこと・・・192
 - (1) 地域住民同士の協力関係を築くために必要なこと[複数回答]
一性・年齢階級別・・・193
 - (2) 地域住民同士の協力関係を築くために必要なこと[複数回答] 一地域別・・・194
- 3 地域住民の協力関係が必要だと思わない理由・・・195
 - (1) 地域住民の協力関係が必要だと思わない理由一性・年齢階級別・・・196
 - (2) 地域住民の協力関係が必要だと思わない理由一地域別・・・197
- 4 地域で安心して生活するために大切なこと・・・198
 - (1) 地域で安心して生活するために大切なこと[複数回答]
一性・年齢階級別・・・199
 - (2) 地域で安心して生活するために大切なこと[複数回答] 一地域別・・・200

第12章 福祉サービスへの民間参入

- 1 福祉サービスへの民間参入の賛否・・・201
 - (1) 福祉サービスへの民間参入の賛否一性・年齢階級別・・・202
 - (2) 福祉サービスへの民間参入の賛否一企業等の従業員数別・・・203

(3) 福祉サービスへの民間参入の賛否―世帯類型（高齢者・母子）別	204
2 民間参入の賛成理由	205
(1) 民間参入の賛成理由―性・年齢階級別	206
(2) 民間参入の賛成理由―地域別	207
3 民間参入の反対理由	208

第13章 社会保障と費用負担

1 社会保障サービスの水準と費用負担のあり方	209
(1) 社会保障サービスの水準と費用負担のあり方―性・年齢階級別	210
(2) 社会保障サービスの水準と費用負担のあり方 ―世帯類型別（子どもの有無、高齢者・母子世帯別）	211
2 今後の社会保障サービスにおける負担方法のあり方	212
(1) 今後の社会保障サービスにおける負担方法のあり方―性・年齢階級別	213
(2) 今後の社会保障サービスにおける負担方法のあり方 ―社会保障サービスの水準と費用負担のあり方別	214

第14章 所得などのあり方

1 望ましい所得（収入）などの決まり方	215
(1) 望ましい所得（収入）などの決まり方〔複数回答〕―性・年齢階級別	216
(2) 望ましい所得（収入）などの決まり方〔複数回答〕―就労の形態別	217
(3) 望ましい所得（収入）などの決まり方〔複数回答〕―世帯の収入別	218
2 所得（収入）格差が生じた場合の取組	219
(1) 所得（収入）格差が生じた場合の取組〔複数回答〕―性・年齢階級別	220
(2) 所得（収入）格差が生じた場合の取組〔複数回答〕 ―望ましい所得（収入）の決まり方別	221
3 現在の社会状況	222
(1) 現在の社会状況―性・年齢階級別	223
(2) 現在の社会状況―仕事の種類別	224
(3) 現在の社会状況―望ましい所得（収入）の決まり方〔複数回答〕別	225
参考「クロス集計を使った分析（コレスポネンシ分析）」	226

行政への要望（自由意見）	228
--------------	-----

第3 付属資料	235
1 調査票と単純集計結果	237
2 主な用語の説明	272
3 主な表記省略一覧表	279
4 東京都福祉保健基礎調査の実施状況（過去10年間）	284

ま え が き

東京都では、福祉・保健・医療施策推進の基礎資料とするため、毎年「東京都福祉保健基礎調査（旧名称 東京都社会福祉基礎調査）」を実施しています。

平成 18 年度は、昭和 56 年度、61 年度、平成 3 年度、8 年度及び 13 年度に引き続き、広く一般都民の生活と都民の福祉に関する意識の実態を把握することを目的として、「都民の生活実態と意識」をテーマに取り上げました。なお、従来の福祉分野に加え、保健・医療分野についての基礎資料も得る目的から、平成 18 年度から調査の名称を変更いたしました。

福祉・保健・医療分野を取り巻く状況は、いわゆる団塊の世代が大量退職を迎える中、介護保険法の改正や障害者自立支援法の施行、医療制度改革など、社会保障制度全般にわたる改正が進められています。また一方で、児童、高齢者虐待の増加など都民の安全と安心を揺るがしかねない状況があります。

こうした状況の中、東京都は民間・地域・行政の力を最大限に活用しながら、都民が地域で安心して生活を送ることができるよう、健康、医療、住まい、就業、子育て、介護、障害者の支援及び福祉サービス等の様々な課題に対して、総合的、計画的に施策を推進していくことが求められております。

そのためには、時代の変化に伴う都民の生活実態の正確な把握が必要になります。

本調査では、都民の健康、住宅、就労及び所得等の生活実態や、食生活、子育て支援、地域社会のあり方及び社会保障と費用負担等の意識について調査し、できる限り都民の生活実態が明らかになるよう努めました。

この報告書が今後の福祉・保健医療を推進するために、関係機関及び関係者の方々に広く御活用いただければ幸いです。

最後に調査に御協力いただきました都民の皆様に厚くお礼申し上げます。

平成 19 年 10 月

東京都福祉保健局

第 1 調査の概要

1 調査の目的

東京都内における各世帯の生活実態並びに世帯員の福祉、保健及び医療に関する実態と意識を明らかにし、今後の福祉・保健医療施策を推進するための基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査の対象

東京都内に居住する、住民基本台帳から無作為に抽出した 6,000 世帯と調査基準日現在満 20 歳以上の世帯員を客体とする。

3 調査の基準日

平成 18 年 11 月 11 日（調査期間 平成 18 年 11 月 11 日から同年 12 月 10 日まで）

4 調査事項

調査は、調査票①、②により主に次の事項を調査した。

- | | |
|---|---|
| ① | (1) 基本的属性
(2) 健康状態
(3) 世話の状況
(4) 住宅及び経済の状況
(5) 就業及び経済の状況 |
| ② | (6) 生活習慣予防
(7) 運動と健診
(8) 悩みやストレス
(9) 子育て支援
(10) 児童、高齢者虐待
(11) 障害者の福祉と雇用
(12) 地域福祉
(13) 福祉サービスへの民間参入
(14) 社会保障と費用負担
(15) 所得（収入）などのあり方について |

5 調査方法

- (1) 調査員が調査対象世帯を訪問し、面接聞き取りの上、調査員①（世帯票）を作成する（面接他計式）。
- (2) 福祉、保健及び医療に関する実態と意識調査は、満 20 歳以上の世帯員を対象に調査票②（意識票）の留置自計式による。

6 調査の機構

- (1) 福祉保健局長
管下の職員を指揮監督し、調査の企画、実施及び結果の公表を行う。
- (2) 調査員
福祉保健局統計調査員設置要綱に基づき、知事が任命する。

7 根拠規程

- (1) 東京都統計調査条例（昭和 32 年東京都条例第 15 号）
- (2) 東京都統計調査条例施行規則（平成 2 年東京都規則第 213 号）

(3) 東京都統計調査条例に基づく都指定統計調査の指定等に関する規則（平成 3 年東京都規則第 25 号）

(4) 東京都福祉保健基礎調査要綱（平成 18 年 10 月 3 日）

8 集計の対象

(1) 世帯と世帯員の状況

調査の客体	集計対象 (回収率)	調査不能				
			転出	不在	拒否	その他
6,000	3,775 (62.9%)	2,225	50	880	1,217	78

(2) 福祉・保健医療に関する意識

調査の客体	集計対象 (回収率)	調査不能				
			転出	不在	拒否	その他
9,828	6,996 (71.2%)	2,832	50	909	1,627	246

9 調査（報告書）の構成

第 1 部では世帯と世帯員の状況に関する調査について、第 2 部では福祉・保健医療に関する意識について記述した。

第 1 部のうち、「第 1 章 調査対象者の基本的属性」は調査対象者の基本的属性を記述した。

「第 2 章 世帯の状況」から「第 4 章 経済の状況」までは、集計対象世帯 3,775 世帯の状況について分析した。

「第 5 章 生活保護受給世帯の状況」では、集計対象世帯のうち、生活保護を受給している世帯 82 世帯の状況について、

「第 6 章 単独世帯の状況」では、集計対象世帯のうち、1,038 世帯の単独世帯の状況について、

「第 7 章 夫婦の状況」では、集計対象世帯のうち、2,398 世帯の夫婦の状況について、

「第 8 章 世帯員の状況」では、集計対象者 9,171 人の状況について、

「第 9 章 子どもの状況」では、集計対象者のうち、18 歳未満の子ども 1,392 人の状況について、

「第 10 章 高齢者の状況」では、集計対象者のうち、65 歳以上の高齢者 2,141 人の状況について、

「第 11 章 手帳所持者の状況」では、身体障害者手帳、愛の手帳及び精神障害者保健福祉手帳のいずれかを所持している 307 人の状況について、

「第 12 章 手助けや見守りが必要な人の状況」では、集計対象世帯のうち、世帯員に手助けや見守りが必要な人がいる 261 世帯及び世話を受けている 269 人の状況についてそれぞれ分析した。

第 2 部では、対象世帯 3,775 世帯の中の満 20 歳以上の世帯員 9,828 人を対象に行った調

査票②（福祉、保健医療に関する実態と意識）の調査で回答のあった 6,996 人について分析した。

このほか、自由意見として記入してもらった福祉保健行政に関する要望、意見等を掲載した。

10 利用上の注意

- (1) 比率の単位は「%」、実数の単位は「世帯」又は「人」である。
- (2) 統計表の百分率については、少数点以下第2位を四捨五入してあるため、総数と内訳の合計は必ずしも一致しない。
- (3) 統計表中、用いた記号は次のとおりとする。
「0.0」…四捨五入により数値を丸めた結果、表示すべき最下位の位の1に達しない場合の単位未満の数値
「—」…皆無又は該当数字なし
「…」…未調査、未集計のために数値が得られない、該当数値が不詳又は不明なもの
- (4) クロス集計表の表側で「その他」等の母数の少ないデータは一部省略したものもある。
- (5) 本文の表中の数値に付けた下線は記述に関連することを示す。
- (6) 「13年調査」または「前回調査（13年）」とは、「平成13年度 東京都社会福祉基礎調査（都民の生活実態と意識）」をいう。
「8年調査」または「前々回調査（8年）」とは、「平成8年度 東京都社会福祉基礎調査（都民の生活実態と意識）」をいう。
- (7) 「結果の概要」中、調査票の回答肢を引用する際、紙面の関係上表記を省略したものについては、付属資料の主な表記一覧表のように省略した。

11 結果の公表

公表している資料は下表のとおり。本報告書は、確定報告の記述編である。

	速 報	確 定 報 告		
区 分	概要版	概要版	記述編	統計編
内 容	単純集計	記述編の概要	分析、グラフ、クロス表	クロス表
時 期	平成19年4月	平成19年10月		平成19年12月
方 法	プレス発表、ホームページ掲載		報告書の刊行、 ホームページ掲載	

ホームページ掲載場所

東京都ホームページ ⇒ 各局のページ ⇒ 福祉保健局 ⇒ 調査・統計 ⇒ 東京都福祉保健基礎調査の結果の結果・概要

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kikaku/kisotyousa/kisotyousa.html>